



越谷市議会議員

福田あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 2020年春号 No.

36

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120

TEL/ FAX 048-978-3335

Mali info@akira-fukuda.com HP http://akira-fukuda.com



※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

防災士
社会福祉士

越谷市一般会計当初予算初の「1,000億円」超え

(中面へ)

12月定例議会 一般質問より

利根川が決壊した場合の想定について

【福田質問】 台風19号の際、利根川の栗橋水位観測所において氾濫危険水位8.90メートルを10時間近く超過する状況が発生していた。もし利根川が氾濫したら越谷市はどうなるか確認する。

【市長答弁】 平成29年に国が公表した洪水浸水想定区域図によると、決壊からおおむね12時間後に市内北部、24時間後に市内全域が浸水する。その災害規模としては市内の地盤が低い箇所における浸水の深さは5メートルから10メートル浸水継続時間は2週間と想定されている。県が令和2年度に公表を予定している洪水浸水想定区域図を踏まえた洪水ハザードマップの周知を徹底する。



バックウォーター現象について

【福田質問】 台風19号による影響では、バックウォーター現象により複数の河川で氾濫が発生したと言われている。越谷市ではバックウォーター現象が発生していたのか？

【市長答弁】 西日本で発生した平成30年7月豪雨、令和元年10月の台風第19号では、本川の水位が上昇することで、支川へ水が逆流し、支川の水位が合流点付近で上昇するバックウォーター現象により堤防が決壊し、多くの被害が発生した。(続く)

(続き)本市におけるバックウォーター現象による堤防決壊が考えられる箇所としては、新方川及び元荒川の中川への合流点があるが、令和元年10月に発生した台風第19号において、両河川ともバックウォーター現象は見られなかったと河川管理者から伺っている。本市は低平地であることから放流河川の水位に影響を受けやすく、バックウォーター現象による内水氾濫が生じることから、河川への合流部のゲートを閉め、ポンプによる強制排水を行い、浸水被害の軽減に努めている。

避難所の開設基準について

【福田質問】 近年多発する災害に市民たちの防災意識や避難に対する意識も高くなってきているが、避難所開設の基準は？また台風19号の際、当初13地区センターのうち越ヶ谷地区センターだけが開設されなかった理由は？

【市長答弁】 避難所の開設基準については、災害対策本部において災害の規模や被害の状況等を情報収集の上、避難所が必要な地域及び収容人数等を考慮し、開設する避難所の場所や数を決定している。越ヶ谷地区センターに関しては、近隣で過去に浸水被害が発生していないことや前回の台風第15号が上陸した際に避難者がいなかったことから、当初の自主避難場所としての開放を見送った。その後、風雨の状況や地区住民からの問い合わせ等を鑑み、避難所として開設した。、市としては、今回の台風第19号への対応から得られた課題や教訓を避難所開設に向けた基準や体制の整備に生かし、市民の皆さんが安心して避難行動がとれるよう努めていく。

議会運営委員会 行政調査より



更に詳しく！ブログをチェック

2月5日 宮崎県日向市、2月6日 宮崎県宮崎市に議会運営委員会にて行政調査を実施しました。⇒調査内容「議会活性化等の取組について」



(日向市議場)

越谷市では実施していない、もしくは十分でない取組を下記に記載

<宮崎県日向市>

- ・議会基本条例の制定
- ・議会報告会(意見交換会)の実施
- ・市民懇談の実施 ・行政視察報告会
- ・意見箱の設置 ・各種イベントでブースを設置
- ・議会事務局の強化等
- ・議員相互間の自由討議の推進
- ・委員会の議事録を、音声認識ソフトにより反訳

<宮崎県宮崎市>

- ・正副議長選挙における所信表明演説の実施
- ・常任委員会における議案審査における議員間討議
- ・当初予算を各常任委員会において審査(分割付託)

「新型コロナウイルス感染拡大防止に係る休校要請についての要望」を提出

2月28日、安倍首相からの突然の学校休業の要望の報道を受け、会派「立憲・市民ネット」では、市長、教育長に対し、「3月2日から春休みまでの長期休校は、共働きやひとり親の保護者への負担が大きだけでなく、日中の子どもたちの安全確保や、保護者である医療従事者が出勤できなくなるなど市民生活を混乱させる数々の弊害が指摘されており、休校に伴う諸問題への対策を十分協議し保護者に配慮すること」を要望しました。



福田あきら(44歳)プロフィール

【所属会派】立憲・市民ネット 【常任委員会】民生常任委員会 【その他】東埼玉資源環境組合議会議員

1975年越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
 1982年清浄院幼稚園卒園
 1988年越谷市立桜井南小学校卒業
 1991年越谷市立越谷北中学校卒業
 1994年埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
 1998年法政大学法学部法律学科卒業
 2000年現:伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
 ⇒IT企業のサラリーマンとして10年勤務
 2011年越谷市議会選挙初当選
 2015年2期目当選 2019年3期目当選

●資格 社会福祉士/防災士/情報セキュリティマネジメント
 宅地建物取引士/終活カウンセラー(上級)など
 ●家族 妻と長男、次男、チワワ2匹
 ●サッカー選手としての経歴
 ・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
 ・水戸ホーリーホック【現Jリーグ2部】
 ・国民体育大会(国体)サッカーや全国社会人サッカー
 選手権優勝など三度の日本一を経験
 ・越谷市サッカー協会副会長
 ・越谷市スポーツ少年団本部長



日々情報
発信中

公式ホームページ
越谷市議会議員
福田あきら



ブログ
福田あきらの
政治家日記



★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方のみ対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。

令和2年度当初予算 総額約1,851億円が可決！

会計種別	当初予算金額	前年度比
一般会計	1,056億円	7.4%
特別会計（8会計）	563億900万円	▲14.3%
病院事業会計	123億8,500万円	1.8%
公共下水道事業合計	108億2,000万円	※皆増
総額	1,851億1,400万円	5.1%

※下水道事業会計を公営企業会計へ移行

■地方公営企業法適用の背景

現在、公共下水道事業を取り巻く環境は、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大や、人口減少に伴う料金収入の減少が見込まれるなど、厳しさを増している。そのようななかで、将来にわたり安定的に事業を継続していくためには、中長期的な視点に立った計画的な運営が求められている。

■地方公営企業法適用のメリット

- 財務規定を適用し、財務諸表を作成することにより
- ①資産状況並びに的確な経営状況の把握・分析が可能となる
 - ②中長期的な経営計画の策定が可能となる
 - ③市民に対して経営状況の情報提供が可能となる
 - ④職員のコスト意識の向上を図れる

3月定例議会 予算特別委員会より①

防護服、マスクの備蓄状況

品名	使用期限	備蓄数			購入方法
		危機管理課	消防本部	地域医療課	
防護服	5年	300 セット	4,000 セット	3000 セット	5年に一度一括購入
シューズカバー					
ゴーグル					
N95マスク	3年	10万枚（越谷市として）	3年に一度一括購入		
グローブ					
マスク	3年	10万枚（越谷市として）			3年に一度一括購入

※2020年3月に越谷市のマスクの一部を介護保険施設、障がい者施設、保育施設、学童保育施設などに配布しました。

災害トイレの備蓄状況

災害用トイレの種類	備蓄数	備考
組み立て式仮設トイレ	376台	衛生的なラップオン36台含む
マンホール型対応トイレ	282台	
段ボールやプラスチック製の緊急組み立てトイレ	129台	一部は小中学校に分散備蓄

この度、私は予算特別委員会のメンバーではありませんでしたが、5日間傍聴して他の委員の気になった質疑をまとめました。



3月定例議会 予算特別委員会より②

RPA導入 業務の自動化・効率化



9課26業務選定⇒9業務をトライ⇒その内、効果のあった3業務を令和2年度実施。1,400時間の業務短縮を目指す。

※PRAとはロボティック・プロセス・オートメーションの略で、今まで手作業でおこなっていた仕事（オフィス業務棟）を自動化・効率化する仕組み。

現在設置しているAEDの数

市内158カ所 178台を設置
公共施設やコンビニに設置
（内24時間対応は93カ所）



平成18年からの使用実績は35件
（うち行政で設置したものは14件 その他は鉄道会社や会社が設置したもの）

民生委員・児童委員の活動費を増額

委員1名あたりの活動費 5,700円/月を1,500円/月増額

委員の人数（2019年12月1日改選時）
委員定数453名（残留297名 新人118名 欠員38名）

小中学校のICT化の状況

タブレット 小学校 41台/校 中学校20台/校
書画カメラ 小学校 5台/校 中学校 6台/校
デジタル教科書 小中学校（国、数、社、理、英）

河川監視カメラ設置数、性能、場所

現在予定しているのは、市内の5本の一級河川の中川（吉川）、元荒川（三野宮、北越谷）、綾瀬川（一ノ橋）、新方川（国道上、下間久里、増林）、大落古利根川（前波）の計8カ所の設置を予定。台風シーズン前までの設置に向けて進めていく。

カメラの性能については、夜間の視認性もある赤外線カメラを検討。カメラ画像については、当面、避難発令等の判断利用を考えており、市民への公開は行わない。



駅のホームドア設置について

現在のホームドア設置の基準は下記2点
・10万人/日以上の乗降客数
・東京オリンピック・パラリンピック会場の最寄駅

埼玉県はこの基準を下記1点に変更予定
・1万人/日以上の乗降客数

そこで越谷市でも越谷駅・蒲生駅2つの駅のホームドア設置における設計の予算を計上。現在すでに設計の済んでいる北越谷駅はオリンピック開始までに完成予定、新越谷駅は2020年度中の完成を予定している。

救急車出動件数と平均到着時間

項目	平成30年	令和元年
出動件数	16,507件	16,494件
119番通報から到着まで	7.6分	7.4分
病院搬送まで	47.1分	47.5分



ハザードマップの更新基準・方法

市の作成するハザードマップには、内水ハザードマップと洪水ハザードマップがある。内水ハザードマップについては、越谷市では、200mmを超える大きな水災害発生時に実績に基づいて作成、公開している。洪水ハザードマップについては、水防法の改正に伴い作成しており、今回は、平成27年の水防法改正に伴い平成29年に国が直轄河川の「洪水浸水想定区域図」を作成し、このたび埼玉県が県管理河川の「洪水浸水想定区域図」の公表を予定している。それを受けて越谷市で洪水ハザードマップを作成する。洪水ハザードマップは、洪水浸水想定区域図に洪水予報時の伝達方法、避難場所その他必要な事項を記載して「洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図る」ことを目的として作成する。

